

桶川市協働推進提案事業

祇園祭とべに花のおはなし

桶川の「^{ぎおんまつり}祇園祭」

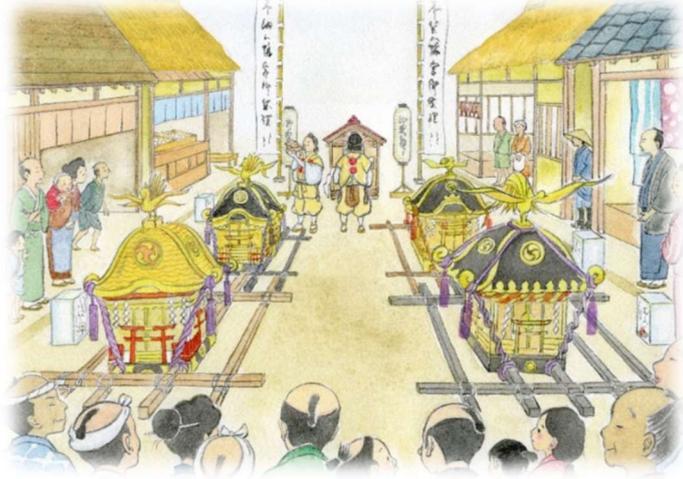
私たちのすむ^{おけがわし}桶川市には、とても大きな^{なつ}夏のおまつりがあります。
みなさんが、まい年^{たの}楽しみにしている「^{ぎおんまつり}祇園祭」です。

桶川市じまんの「祇園祭」は、いつごろはじまったのでしょうか。ちよっとしらべてみましょう。



祇園祭のようす

桶川のまちでおまつりがはじまったのは、今からおよそ280年もまえのことです。「江戸時代」という時代です。桶川のまちの人たちが、びょう



きをしないで^{げんき}元気にくらせるように、^{なかせんどう}中山道の^{みち}道のまん中にたてた「^{いちがみしゃ}市神社」という^{じんじゃ}神社の^{かみ}神さまにおねがいたのがはじまりです。

この「市神社」のまえではじまったおまつりが、「^{ぎおんまつり}祇園祭」とよばれるおまつりになりました。



この^{なかせんどう}中山道の^{みち}道のまん中
にあった「^{いちがみしゃ}市神社」という
^{じんじゃ}神社は、江戸時代がおわると、
たくさんの人^{もの}や物がとおってこわれてしまわない
ように、おひっこしをしま

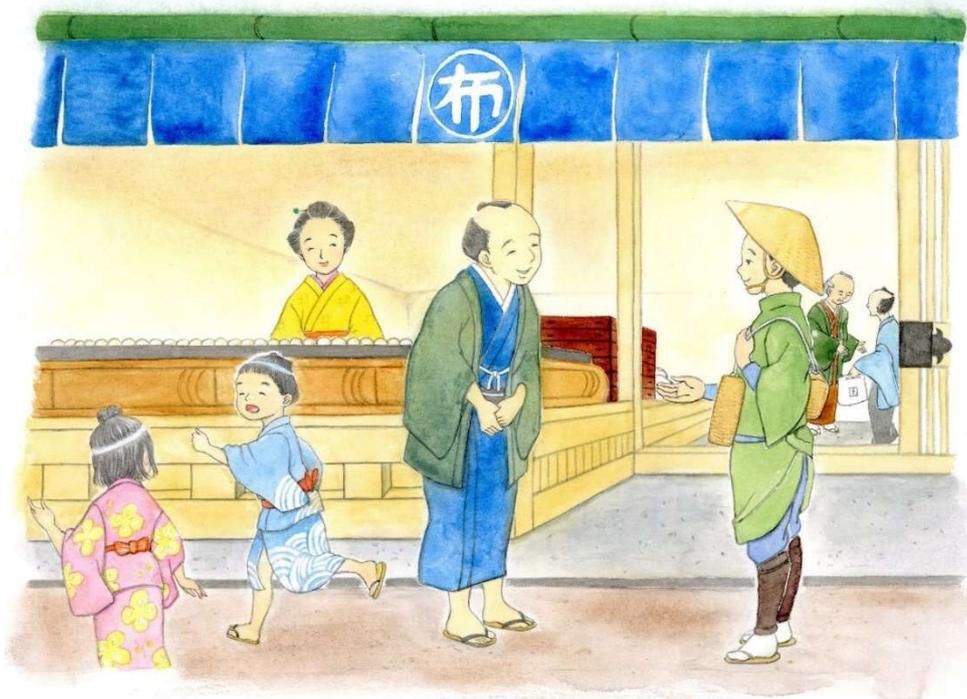
した。そして、今は^{いなりじんじゃ}稲荷神社の中にあります。

えどじだいの桶川のまちは、
「べに^{ばな}花」という花がとてもゆ
うめいでした。この花をうった
りかったりするために、いろい
ろなところから、たくさんの
しょうにんが、桶川のまちにきました。



こうしてまちがにぎわうと、たくさんのお店^{みせ}や家^{いえ}ができ、まちの人
たちは、いろいろなしごとをするようになりました。そして、たびを
する人がとまる「はたご」(りよかんのこと)もたくさんできました。

こうして、桶川は、とてもゆたかで大きなまちになりました。



桶川のまちに、だんだん人がふえて、まちが大きくなると、おまつりも大きく、にぎやかになりました。

桶川のまちの人たちは、「おみこし」や「だし」をつくって、おまつりをもりあげました。これが、みなさんがよく知^しっている今の「^{ぎおんまつり}祇園祭」です。

今でも桶川の人びとは、まい年の夏^{なつ}におこなわれる祇園祭でおみこしをかつぎ、だしをひき、神さまに^{かみ}かんしゃして、中山道を元気いっぱい^{ある}ねり歩きます。



みなさんのおじいさんやおばあさんたちがくらしした桶川のまちは、今とはずいぶんちがいます。でも、今とおなじように、おみこしをかついだり、「おはやし」をやったりして、おまつりを楽しみました。



めいじじだい ぎおんまつり
明治時代の祇園祭と子どもたち



今もむかしも、おまつりはみんなが力を合わせて、りっぱなものにします。祇園祭は、みんなの元気のもとです。桶川がずっとずっと元気なまちであるように

に、祇園祭のことをたくさん知って、これからはみなさんが、祇園祭をもりあげていってください！



むかしの子どもみこし



今の子どもみこし

桶川の「べに花」のおはなし

「べに^{ばな}花^し」を知っていますか？夏^{なつ}がはじまるころに、きれいなきいろい花がさく植物^{しょくぶつ}です。べに花は、赤^{あか}い色^{いろ}をそめるためのざいりょうになります。



べに花の花



べに花でそめたTシャツ

きいろい花なのに、赤^{あか}色^{いろ}にそまるなんて、とてもふしぎですね。じつは、きいろい花から赤い色をとり出す、とくべつな^{ほうほう}方法があるのです。

むかしの方は、べに花から、赤い^{きもの}着物をそめたり、口べにをつくったりして、おしゃれをしました。

べに花は、今もむかしも、^{やまがたけん}山形県
でたくさんつくられています。

山形県から桶川にべに花がやって
きたのは、^{えどじだい}江戸時代のことです。

山形県よりあたたかい桶川では、

山形県よりも^{すこ}少しだけ^{はや}早く花がさきます。そして、とてもよいべに花
がそだちました。だから、桶川のべに花はとても^{にんき}人気がありました。



^{えどじだい}江戸時代の桶川のまち
には、べに花をうる人たち
が、たくさんいました。こ
の人たちを「べに花商人」
といいます。^{えど}江戸（今の

^{とうきょう}東京）や^{きょう}京（今の^{きょうと}京都）からは、べに花をつかってそめものをする
人たちが、桶川にべに花をかいにきました。

こうして、桶川のまちは大きく、にぎやかになりました。そして、
べに花商人^{しょうにん}たちは、とてもゆうふくになりました。

江戸時代がおわると、べに花の人氣がなくなってしまいます。そして、桶川のべに花は、だんだんなくなってしまいました。



べに花をつかったおかし

桶川のべに花のれきしをわすれないように、今の桶川市では、みんながべに花のべんきょうをしたり、「べに花まつり」をやって、べに花をアピールして

います。だから、桶川市は「べに花の郷」とよばれているのですね。

歴史民俗資料館では、べに花のことをべんきょうできます。ぜひ、来てください。



「べに花ぞめ」のたいけん



そうそう、みんなが大すきな「オケちゃん」のあたまの上にはさいているきいろい花も、べに花なんですよ。